

看護過程研修

～個別性のある看護を実践しよう～

7月12日（木）・13日（金）に、「新卒者看護過程研修」を実施しました。午前は、主に講義で、看護の視点・全人的視点での情報収集の重要性や看護過程の一連の流れ、看護診断について理解を深めました。インタビューの演習では、コミュニケーションするうえでの基本的姿勢と態度や話しやすい雰囲気を意識しながら行いました。午後は、講義の内容を基に、事例を使用し、情報の整理・解釈・総合、診断候補、看護診断、看護計画までグループで検討しました。患者さんの困りごと・気がかり、強みは何か、看護師が支援できることは何かなど、活発な意見交換が行われていました。



インタビューの演習

3～4人1組となり、看護師役、患者役、観察者を体験しました。自然な流れで、意図的に情報を引き出すことの難しさを実感していました。



グループワーク

事例を基に、患者さんにとっての最善のケアについて、グループで検討していました。話し合いでは、患者さんの事を熱心に考え、積極的に意見交換している様子が印象的でした。



全体会

グループで話し合われた、アセスメントから看護診断、看護計画を発表し、学びを共有しました。



★8月13日から看護過程サポートを開始します。インタビューの同席、アセスメントから看護計画立案、評価までのサポートをします。新人教育に関して、何かご意見やご要望などありましたらお気軽にご連絡ください。
看護職キャリア支援 教育担当

